

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 9 - 28

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		雄武町都市対策事業					
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	都市計画係		
	管理職	職名	課長		作成者	職名	課長補佐
		氏名	大場利昭			氏名	佐竹邦夫
事業の概要	北海道により実施されるオコツナイ川・ボンオコツナイ川整備に伴う北海道との協議、打合せ、また、河川整備に伴う雄武町管理施設工作物(水道、下水道等)の移設整備及び移転補償者のための町有地の代替地整備を行うための事業であります。					全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 国・道支出金 382,100 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 13,700 千円 事業費計 395,800 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	A		
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~					
	基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化					
	単 位 施 策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化					
	事務事業の種類	自治事務	法定受託事務				
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	18,360 千円	32,220 千円	141,200 千円	50,000 千円	93,000 千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	8,509 千円	13 千円	200 千円	200 千円	200 千円	
	合 計	26,869 千円	32,233 千円	141,400 千円	50,200 千円	93,200 千円	

591

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民・河川	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	河川の氾濫	整備河川数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安全で災害に強い河川整備を目指す。	整備河川数 / 整備河川数の実績	指標(指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成21年度	
			目標値	2 河川	
			実績値	2 河川	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	災害に強い河川整備による地域住民の安全確保。		達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
北海道や関係機関との協議、打合せ	オコツナイ川、ボンオコツナイ川に係る河川整備について、網走建設管理部興部出張所と関係機関である雄武漁業協同組合と協議、打合せを行った。				
民間業者による委託、工事の実施	民間業者の入札により、水道・下水道の移設施設設計を委託し、移転補償者のための町有地の代替地整備に係る委託、工事を実施した。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うためには、欠くことのできない事業であり町が担う必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、実施計画及び移転補償者の代替地の確保ができた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	入札により事業費が抑制されたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うためには、欠くことのできない事業であり、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続 / 現状維持		
北海道により実施されている事業であるため、継続、現状維持が適当である。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--